

岩手県金融経済概況（平成 27 年 5 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、総じて底堅く推移している。住宅投資、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。

生産は、持ち直しに転じている。雇用・所得環境は、改善している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、総じて底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 27 年 5 月）は、僅かながら前年を上回った（前年比+0.5%）。

スーパー売上高（平成 27 年 4 月；全店舗ベース）は、増加した（前年比+9.0%）。

新車登録・届出台数（平成 27 年 5 月）は、軽自動車の大幅前年割れ（前年比△28.9%）を主因に、5 ヶ月連続で前年比二桁のマイナスとなった（「登録車+軽」前年比△15.1%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額は、高水準を維持している。

—— 平成 27 年 5 月前年比は△8.6%となり、前年大幅増加の反動を主因に 4 ヶ月連続での前年割れとなったが、平成 25 年 5 月（前々年同月）対比では、2.4 倍となっている。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 4 月）は、分譲における前年集中着工（平成 26 年 4 月 分譲 前年比 3.2 倍）の反動減（平成 27 年 4 月 同 △82.9%）を主因に、全体では、前年比△7.5%となった（2 ヶ月連続で前年割れ）。

—— もっとも、その他の利用関係別では、持家がほぼ前年並みとなった（平成 27 年 4 月前年比△0.3%）ほか、貸家は、災害公営住宅の着工が下支えするかたちで増加した（同+11.0%＜4 ヶ月連続での前年比プラス＞）。

民間設備投資(短観ベース；平成26年度実績見込み、平成27年度計画)は、全産業ベースで前年を上回っている。

県内の官民建設工事全体の出来高(建設総合統計)は、増加基調を維持している(平成27年4月前年比+20.6%；平成24年2月以降39ヵ月連続)。

3. 生産動向

鉱工業生産指数(季節調整値)は、前期比ベースで2四半期連続プラスとなるなど、持ち直しに転じている(平成26年7~9月 前期比 Δ 0.2% \rightarrow 10~12月 同+1.3% \rightarrow 平成27年1~3月 同+4.2%)。

—— 平成27年4月(速報値)は、前月比 Δ 0.5%。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率(季節調整値；平成27年5月)は、1.23倍となった。

—— 平成25年5月以降25ヵ月連続で1.00倍以上を記録。

—— 有効求人倍率1.23倍は、平成4年4月以来の水準。

雇用保険被保険者数(民間企業中心の全数調査)は、増加基調を維持している(平成27年5月前年比+1.2%；平成24年3月以降39ヵ月連続で増加)。

名目賃金指数は、増加地合いを辿っている(平成27年4月 前年比+1.1%)。

雇用者所得(県内合計値)は、増加している(平成27年4月 前年比+1.2%)。

5. 企業倒産

企業倒産(平成27年5月)は、2件、10.0億円となり、金額ベースで前年比増加した(件数ベースは、前年と同じ)。

6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622(代) <http://www3.boj.or.jp/morioka/>